

# 8部

通信制大学院コーナー

【本コーナー以外のご参照ページ】

\*仙台駅東口キャンパス他のご案内 p. 51参照

## 2024年度入学生数

ご入学おめでとうございます。通信制大学院へは、正科生18名（社会福祉学専攻9名・福祉心理学専攻9名）の方がご入学されました。心よりお喜び申し上げます。

## 1 今年度修了希望の方へ

今年度はいよいよ修士論文を提出し、修了を目指されることとなります。専攻ごとの修了までの流れをしっかりと把握しましょう。

### ●社会福祉学専攻の方

- (1) 2023年度に「研究指導（論文指導）」の構想発表会を済まされた方は、今年度は後半の内容と「社会福祉学研究演習Ⅱ」に取り組みます。
- (2) 4月初旬に『2024年度 学年暦』を送付しました。「研究指導（論文指導）」の各報告・発表会の日程、修士論文提出締切日、修了者の最終レポート提出期限や提出方法などを把握し計画的に取り組みましょう。
- (3) 入学年度に配付済み『通信制大学院ガイドブック』2章 修士論文の作成（2023版 p. 66～88・2022版 p. 64～83）より、下記の①～⑥を再度確認してください。
  - ① 修士論文執筆の準備として、前年度までに書き方や方法論の学習をお勧めしていますが、十分でない方は『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 38～70・2022版 p. 49～67を確認し、急ぎ理解を深めること。

- ② 『科目別ガイドブック2024』 p. 18～19 「社会福祉学研究演習Ⅱ」を確認し、授業を通して指導を受け、疑問点は随時解消すること。
- ③ 第2回中間報告は、それまでの研究してきたことを文献や調査結果をもとにまとめる時期です。担当教員から論文指導を十分に受け、論文を執筆するようにしてください。
- ④ 年度の後半は修士論文作成に集中できるよう、授業科目の単位修得が必要な方は、遅くとも9月頃までにはレポートをご提出ください。
- ⑤ 修士論文提出締切日は、2025年1/20（午後4時）。
- ⑥ 修士論文の最終試験となる口述試問の日程変更は応じられません。

### 【社会福祉学専攻 第1回中間報告会】

- (1) 第1回中間報告レジユメの提出及び執筆要領

第1回中間報告会	2024年6/8(土)
提出締切日	第1回中間報告会の1週間前
中間報告レジユメ様式	『通信制大学院ガイドブック2023』 p. 72参照
提出方法・執筆要領	『通信制大学院ガイドブック2023』 p. 73参照

- (2) レジユメは、提出前に指導教員から指導を受けてください。

### ●福祉心理学専攻の方

- (1) 2024年度の修士論文作成を許可された方へは、前年度末に許可のお知らせと同封で「面接指導票」、「通信指導票」を送付しています。
- (2) 4月初旬に『2024年度 学年暦』を送付しました。各レジユメの提出締切日、修士論文提出締切日、修了者の最終レポート提出期限や提出方法などを把握し計画的に取り組みましょう。
- (3) 入学年度に配付済み『通信制大学院ガイドブック』2章 修士論文の作成（2023版 p. 66～88・2022版 p. 64～83）より、下記の①～⑥を再度

確認してください。

- ① 修士論文執筆の準備として、前年度までに書き方や方法論の学習をお勧めしていますが、十分でない方は『通信制大学院ガイドブック』202版: p. 51～70・2022版 p. 49～67を確認し、急ぎ理解を深めること。
- ② 『通信制大学院ガイドブック』2023版 p. 77～78・2022版 p. 72～73にて指導を受ける手続きを確認し、疑問点は早めに解消すること。
- ③ 第2回中間レジュメ提出時(10/24締切)に「修士論文提出願」を添付いただきますが、それまでに担当教員から論文指導を十分に受けていない、論文の進捗状況が芳しくないなどの場合、修士論文の提出が許可されません。計画的に、論文を執筆するようにしてください。
- ④ 後半は修士論文作成に集中できるよう、授業科目の単位修得が必要な方は、7月(遅くとも9月)までにはレポートをご提出ください。
- ⑤ 修士論文提出締切日は、2025年1/20(午後4時)。
- ⑥ 修士論文の最終試験となる口述試問の日程変更は応じられません。

### 【福祉心理学専攻 第1回中間レジュメ】

- (1) 第1回中間レジュメの提出及び執筆要領

提出締切日	2024年8/19(月)必着
第1回中間レジュメ	『通信制大学院ガイドブック』 2023版 p. 74、2022版 p. 69参照
提出方法・執筆要領	『通信制大学院ガイドブック』 2023版 p. 75、2022版 p. 70参照
指導について	『通信制大学院ガイドブック』 2023版 p. 77～78、2022版 p. 72～73参照

- (2) レジュメは、提出前に指導教員から指導を受けてください。
- (3) 構想レジュメの受付は、5/17で終了。

## ●研究倫理審査申請について

研究の方法によって（例えば、データ収集やインタビュー、ヒヤリングなど）は、本学大学院研究倫理審査委員会の審査を受け、十分な配慮がなされていると判断されることで実施が可能となります。

今年度修了予定の方へ、4/2に修士論文研究倫理審査申請についてメールをいたしました。メールと添付書類を必ず確認してください。

### 【添付資料4種類】

1. ★研究倫理審査チェックシート
  2. ①研究倫理審査申請書
  3. ②研究協力同意書
  4. ③研究協力同意撤回書
- ・指導教員の指導を受けて申請書類を準備し、締切日までに申請（提出）してください。

### 【研究倫理審査申請締切日】

1	5月の第二水曜日	<p>&lt;提出先&gt; ウェルコム21大学院事務室</p> <p>【注】通信制大学院事務室経由で提出する場合は、締切日2日前（月曜日）必着で送ってください。</p>
2	6月の第二水曜日	
3	7月の第二水曜日	
4	9月の第二水曜日	
5	10月の第二水曜日	
6	11月の第二水曜日	
7	12月の第二水曜日	
8	1月の第二水曜日	
9	2月の第二水曜日	

※8月と3月は審査会の開催はありません。

※審査にはおおよそ3週間を要します(余裕をもってご申請ください)。

※審査承認後に変更が出た場合、その都度、変更申請書の提出が必要。

## 2

# (新入生の方) 日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース」受講について

入学時にご案内しました、日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース (e-Learning Course on Research Ethics) [eL CoRE]」の受講につきまして、4月中に日本学術振興会より、個人の大学メールアドレス宛に ID・パスワードの通知がされていますのでご確認ください。

### 【受講方法】

- ①日本学術振興会より届く ID・パスワードを確認。
- ②下記サイトにアクセスし、ID・パスワードを入力、ログインして受講。  
(<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>)
- ③受講完了後は「修了証書」の PDF データを下記提出先へメール提出。

提出先	本学 研究企画推進課 【 <a href="mailto:tfuhojyo@tfu.ac.jp">tfuhojyo@tfu.ac.jp</a> 】宛
提出締切日	2024年8/31必着

※注意：提出先は、通信制大学院事務室とは異なります。

## 3

# 学習について

### ●レポートや在宅レポート試験などについて

『通信制大学院ガイドブック』（2024・2023版 p. 27～31、2022版 p. 25～28）を参照し、下記についてご確認ください（提出締切日は『2024年度 学年暦』を参照）。

- (1) 履修方法 SR 科目（修士論文作成科目は除く）は、スクーリング全日程終了後に『科目別ガイドブック2024』記載の事後課題レポートを提出（事前課題やスクーリング中の課題とは異なります）。

- (2) 事後課題レポートは、スクーリングに出席した年度内に提出（今年度の提出締切1/8）。提出方法は、『科目別ガイドブック2024』p. 4～6を参照。
- (3) R科目の課題レポートで、今年度単位修得したい科目の提出締切は、1/8（今年度修了予定者：11/28）。\*締切後1ヵ月程度でレポート返却となります。この時点で評価が再提出となった場合は、今年度の単位修得はできなくなります。
- (4) R科目の在宅レポート試験（単位修得試験）は、各科目のレポート2課題に合格後、1週間程度で事務室から試験問題（試験レポート）を送付します。
- (5) R科目の試験レポートは、課題レポートとは提出方法が異なります。初回の提出は、『科目別ガイドブック2024』p. 4～9を要確認。
- (6) 試験レポートの最終提出締切は、2/19（今年度修了予定者：1/18）。  
\*最終締切で提出した試験レポートの評価が不合格（再提出）の場合や締切に遅れた場合、次年度以降の単位修得となります。
- (7) 試験レポートの締め切りは、年4回（『2024年度 学年暦』参照）。  
\*今年度中に単位修得したい科目については、3回目の試験レポート提出までに終わらせましょう（最終の4回目ではそれまでの評価が不合格〔再提出〕になった科目や来年度に単位修得しても構わない科目を提出するように計画）。

### ●スクーリングについて

『通信制大学院ガイドブック』（2024・2023版p. 29～31、2022版p. 27～29）をお読みいただき、下記の点について再度ご確認ください。

- (1) スクーリングは、全日程出席が必須（事前課題への取り組みも必要）。  
\*日程の一部欠席や遅刻・早退をした場合は、単位の修得不可。

- (2) 今年度履修登録をしたSR科目について、スクーリングを欠席する場合は『通信制大学院ガイドブック』（2024・2023版 p. 30、2022版 p. 28）の「受講手続き」の2）に基づき事務室にご連絡ください。
- (3) 昨年度までに履修登録済みで、スクーリングに出席していないSR科目について、今年度の出席を希望する方は、履修登録時にお申し出が必要です。お申し出のない方は出席できません、ご了承ください。
- \*事前事後課題は、『科目別ガイドブック2024』記載の課題に取り組んでください。
- (4) 福祉心理学専攻と2022年まで入学の社会福祉学専攻の演習科目の単位を修得するためには、福祉心理学専攻では同選択講義科目、社会福祉学専攻では同研究科目の単位修得が必要です。
- (5) 今年度のスクーリング日程については、『2024年度 学年暦』を参照。
- (6) 対面（会場）スクーリングは、仙台駅東口キャンパスで開講します。教室は、当日に1階エレベータ前の掲示でご案内します。

## 4 / その他

- (1) 進級手続きへ『2024年度 学年暦』『科目別ガイドブック2024』など副教材を送付済み
- (2) 履修登録用紙を提出締切日4/15までに送付いただいた方には、順次教科書発送を行っています。教科書に間違いや不足などがないかご確認ください。
- \*不足などについては、到着後2週間以内にお知らせください。それ以後の不足については、購入となりますので予めご了承ください。



# ライバルは自分だ!!

総合福祉学研究科  
社会福祉学専攻修了生

東 佑樹

日々の研究、本当にお疲れ様です。僭越ながら、私の修士論文（以下、「修論」）作成の過程を振り返らせていただきたいと思います。

皆さんの多くがそうであるように、私も仕事や子育てをしながらの修論作成でしたので、いかに効率良く進めていくかを常に意識するようにしていました。具体的には、1年次に必要な単位を全て習得し、2年次は修論作成に専念しました。そして、倫理審査申請も余裕を持って行い、8～9月にインタビュー調査を実施しました。加えて、課題として与えられる構想レジュメ等を作成しつつ、時間を見付けては修論の執筆に取り組むよう心掛けました。しかし、それでも終盤はギリギリのスケジュールを刻むことになってしまったので、前もってできることを少しずつでもやっておくことをお勧めします。

## テーマ設定と資料収集

同期生の中には、当初のテーマと大きく方向転換された方もいましたが、私は当初のテーマのままで修論作成に臨みました。強いて言えば、先生方の助言を受け、資料収集の範囲を狭めました。今となっては無謀なことを考えていた当初の自分が恥ずかしく思えます。なお、私の資料収集はインターネット上のオープンデータが主でしたが、データ収集には約1か月を要しました。とても緻密な作業であったので、同時並行で行ったインタビュー調査が良き気分転換であったと振り返ります。

## 同期生とのつながり

---

修論の作成は、予定通りに進む場合とそうではない場合とがありました。やっとの思いでスケジュールを調整し、時間を確保したのにも関わらず、執筆が進まなかった時のショックは今でも忘れません。そんな時は、いつも同期生同士のグループラインに助けられました。弱音を吐いたり、互いの進捗状況を確認し合ったり等、色々なメッセージが飛び交いました。それらのメッセージに勇気づけられ、力づけられたのは私だけではなかったと思います。是非、皆さんも同期生との密なつながりを構築していきましょう。

## 自分に合った時間の作り方

---

1日が24時間であることは誰にとっても平等ですが、その使い方は人それぞれです。朝型の方もいるでしょうし、夜型の方もいると思います。私は日々の晩酌を手放したくなかったため、朝型で頑張りました。しかし、社会人である以上、修論作成の時間をコンスタントに確保することは難しいと思います。そんな時、私は決して無理をせず、体調を崩さないことを優先しました。ただでさえ、二足のわらじで無理をしている身であるということをお忘れなく行ってください。

## ライバルは自分だ!!

---

皆さんは、とても高い志を持って大学院修士課程の道に進まれ、今に至っていると思います。本当に尊いことだと思います。しかし、「熱い思い」を持続させていくことはとても大変です。実際に私も、強い自分と弱い自分が足を引っ張り合い、弱い自分が勝ってしまうことが何度もありま

した。そんな時は、前述の「同期生とのつながり」や「自分に合った時間の作り方」を参考にしていいただければと思います。加えて、大学院の先生方や事務室の方の助けを借りることも一策です。弱い自分は、至る所に潜んでいます。是非、強い自分に勝利を導いてください。

私の中で、修論の作成が最も多忙であった昨年の夏頃のことを思い出すと、今でもゾッとします。毎日が自分との闘いで、毎日が修行の様でした。しかし、今となっては妙にあの頃が懐かしく、とても充実した日々であったと振り返ります。

その渦中になると、不安やしんどさが前面に出て来るとは思いますが、間違いなく、今の瞬間は皆さんが大きく成長している瞬間です。自信を持って、皆さんの大きな夢を実現させていってください。陰ながら、応援しています。You can do it!!

---

## “何故”や“分からない”を楽しむ

---

OB MESSAGE

総合福祉学研究科  
福祉心理学専攻修了生

大原 慎

修士論文を作成するにあたり、私にとってのキーワードは【時間】【こまめなバックアップ】【データ入力に細心の注意をはらう】【調査協力者・指導教員への感謝】でした。

### 時 間

---

時間は何人にも平等です。仕事の時間は確実に発生するため、はじめに仕事以外で活用できる時間を整理しました。出勤前や職場への移動中などもなるべく資料収集をしたり、東北福祉大学の図書館で借りた専門書などを読み込める時間を確保して、帰宅後には研究に必要な内容を整理、執筆しました。

### こまめなバックアップ

---

収集した資料やデータは論文作成にあたり、当然欠くことができないものです。ところが普段使っているPCは稼働することが“当たり前”との思い込みがあると、かなり危険です……。私はデータ集計中や修士論文作成中に2回もPCが壊れてしまいました。幸いなことに、若干改めて入力し直すことで、対応することができましたが、可能な限りこまめにバックアップを取ることの大切さを痛感しました。

## データ入力に細心の注意をはらう

---

修士論文提出が間近に迫った頃、改めてデータの見直しをしていた際、妙な違和感を覚え、一つずつの数字を確認しました。すると、入力した数字に間違いがあることに気がつき、血の気が引く体験しました。なぜか？数字の違いは、それまでに執筆済みの結果や考察などにも当然影響を及ぼすためです。慌てて指導教員に報告をすると、とてもあたたかく受け止めてくださり、また発想の転換も含めてご助言いただき、気持ちを立て直すことができました。

## 調査協力者・指導教員への感謝

---

当たり前の話で恐縮ですが、研究の調査にご協力いただいた方々に関しては、その方々の貴重な時間をいただくこととなります（訪問し、協力依頼をする時間も含んでのことです）。先述のように、時間は何人にも平等であり、また、とても貴重です。また、親身になって指導して下さる教員の方へも、指導して下さることを当たり前と考えず、感謝の気持ちを忘れないことが重要です。修論執筆で大変になった時も、感謝の気持ちを持ち続けることが、論文執筆をやり抜くことに大きな力になると私は考えます。

## 苦勞（？）

---

修士論文を書き終えるまでに、例えば指導教員決定がM 2に上がる時だったことや同期の方々と直接情報交換ができなかった（構想・中間レジュメで状況を知る程度）ことなど、大変に思うことはありましたが、私自身は、苦勞があったという自覚がありません（気が付いていないだけ？）。

もともと私は自分からすすんで“勉強”をすることは苦手でしたが、大学院での研究は、自分が興味のあることを探求できることから、没頭し、次々に得られる知のシャワーがとても心地よかったためです。

しかし、あえて挙げるとすると、私にとってのそれは、初めての心理統計と分析結果の解釈です。学部時代は心理学部ではなかったこともあり、大学院進学するにあたり、初めて目にする用語ばかりで、常にクエスチョンマークがついて回りました。初歩から学び始めたものの、指導教員には大きな心で、また、あたたかでもとても丁寧なご指導を常にいただいたことで、なんとか進めることができました。

## おわりとして

---

この内容をご覧になっている方の中には、大学院生活が始まったばかりの方もいらっしゃると思います。事務局の方からもご助言があると思いますが、M2時に修士論文の作成に集中できるように、なるべくM1時に必要単位を取得しておくことをお勧めします（私はこのご助言が本当に有難かったです）。

また、既に修士論文執筆にとりかかっている方もいらっしゃると思います。時間を有効に使いつつ、バックアップを取ることを忘れず、データ入力時には細心の注意を払い、研究協力者の方々や指導教員にも感謝の気持ちを持ちつつ、更に付け加えるならば、健康に留意しながら研究を進めてくださいね。皆さんなら、きっと来年の春を晴れやかな気持ちで迎えられることと思います。応援しています！